つかさ会　会報

2024.8 月

会員の皆さま、こんにちは。今年の夏も、各地で連日猛暑日が続いていましたが、体調を崩されてはいないでしょうか。9 月も全国的に平年より気温が高く、厳しい残暑が予想されています。夏バテを防ぐためにも、バランスの取れた食事や適度な運動を心がけていきましょう。

さて、昨年より再開されました、『歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー in 岐阜』が今年も開催されます。例年は関市の百年公園で行われておりましたが、今年は 10 月 20 日(日)に岐阜市の岐阜公園で開催されます。金華山のふもとに広がる岐阜公園周辺を散策しながら、風情を楽しめるコースを予定しています。詳しい開催案内を同封しますので、ご確認ください。参加をご希望の方は、申込書を郵送または FAX にて、つかさ会事務局宛にお送りください。

お申し込みの締切は 9 月 27 日(金)着とさせていただきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

今月は、当院の西 7 階病棟の担当薬剤師の西田承平先生に、『さかえ』の読みどころを紹介していただきます。

みなさんこんにちは。まだまだ暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。私は岐阜大学医学部附属病院の糖尿病代謝内科病棟の担当をさせていただいている薬剤師の西田承平と申します。病棟ではみなさんにお薬の使い方を説明させていただいております。つかさ会のイベントで見かけたら気軽に声をかけてくださいね。

さて、今月号のさかえの特集１は「糖尿病と睡眠時無呼吸症候群（P５）」、特集２は「体験の語りと、それを受け止めること（P１７）」です。

特集 1 にある睡眠時無呼吸症候群、みなさん、ご存知でしょうか。睡眠中に気道が一時的に閉塞して呼吸が止まることが繰り返される疾患です。実は糖尿病のある人は糖尿病のない人より多いそうです。しっかりと寝ているはずなのに疲れが取れない、眠気がする、といった人は要注意なので、ぜひさかえを読んで理解を深めてください。

特集 2 では糖尿病を持つ人と医療従事者の関係性について考える内容になっています。最近、糖尿病の呼称を「ダイアベティス」に変えていく動きがあります。これは古くからある、糖尿病のネガティブなイメージから脱して、糖尿病のある方が一病息災で生き生きと暮らしていけるような社会を目指すためのものです。この特集を読んで糖尿病という呼称をどのようにするか自体が問題なのではなく、医療に関わる人にとっては糖尿病のある人のことをどのように捉え、人間としてどう共感していくかが大切である、ということに気付かされました。医療従事者が読んでも、そうでない人が読んでも学びの多い特集になっていると感じました。ぜひ読んでいただきたいです。

加えて個人的に読んでいただきたいのは「フットケア（P42）」です。今回が最終回ですが、これまでのおさらいのような形でたくさんの困り事に対して Q &A 形式でまとめて回答してくれています。きっと役にたつ知識が手に入ると思います。

もうすぐ秋になりますが、まだまだ油断のならない暑さが続いております。水分摂取をこまめに行いながら、体調にお気をつけてお過ごしください。